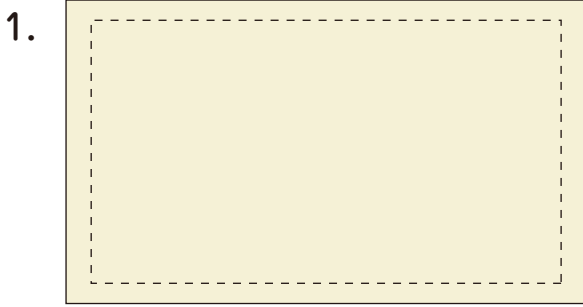
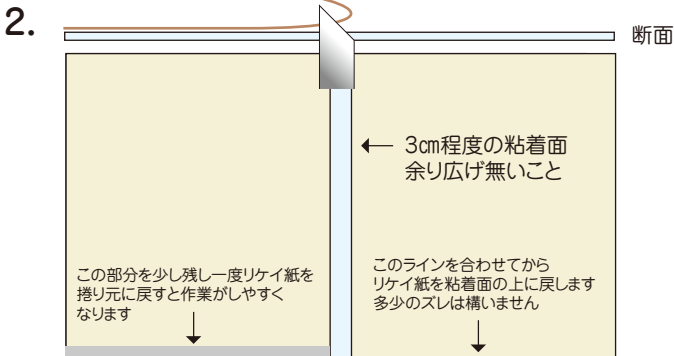


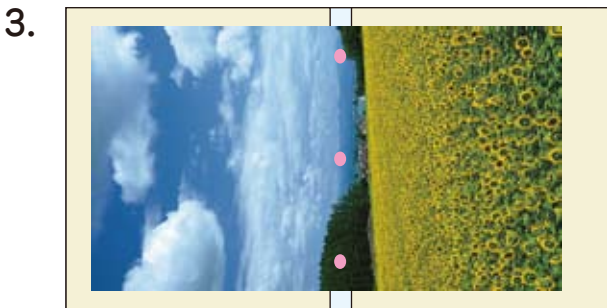
# ハンドローラーによる加工行程



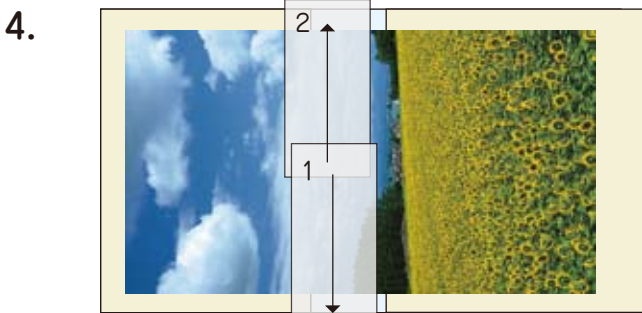
点線を印刷物サイズとした場合の加工方法  
 は、パネル表面のリケイ紙とします。



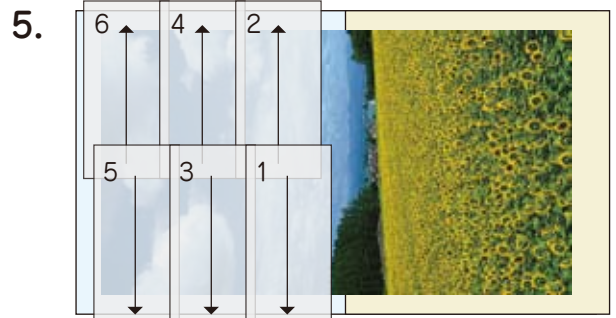
リケイ紙を中央部分まで捲り、内側からカッターで切り離し、3cm程度を右側にリケイ紙を移動して粘着面の上に戻す。この際下のラインを合わせてから上に進むと綺麗に戻せます。  
 ※切れない刃物の場合には、切りくずが粘着面に落ちる場合がありますので**良く切れる刃物**でカットして下さい。



印刷物をリケイ紙の上に置き、位置が決まったら動かない様に左手で軽く押さえて、右手の指の外側部分でピンクの様に数カ所を軽く押さえて仮止めをします。  
 ※指の内側(指紋の面)では油分がありますので濃い印刷物や写真などの場合には、**跡が残りに見苦しく**なります。



最初にローラーで押さえる事の出来る部分までリケイ紙をずらすか、捲って押さえる事の出来る部分を作って下さい。1の位置で印刷物の中央から外にローラーで押さえて空気を押し出します。次に2の位置で1の最初の部分に少し重複させて同じく外に向かって押し出します。印刷物の場合には、後でも空気は抜けますが、インクジェット出力などは、後で抜く事が出来ませんので十分注意してしっかり押さえて空気を押し出して下さい。



徐々にリケイ紙を捲りながら貼り左半分を抑えます。次に右も同じく作業しますが、パネル全体を180度回転させて作業した方が、利き腕の方向で作業出来るので上手く出来ると思います。  
 押さえる部分は必ず前の部分に**少し重複させて下さい**。重複させない場合は、空気残りを起こす可能性がありますので注意して下さい。

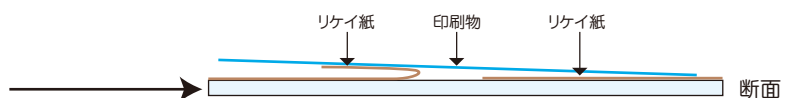


印刷物全体が貼り終わりましたら、周囲の余分な部分をカットして仕上げます。



空気が残っているか心配な場合には、印刷面を内側に反らして下さい。万空気が残っている場合には、その部分が少し膨れますが**インクジェット出力などは再度押さえても空気が抜けないので十分注意して**作業して下さい。一般的なポスターであれば再度押さえ直せば空気を逃がす事が出来ます。

## 8. パネル加工の完成



### 補足説明

- 1.ハンドローラーはパネルの粘着面に転がしてもローラー表面がテフロンなので楽に転がせます。
- 2.万一粘着面に小さなゴミを落とした場合などは取らずにボールペンの先などで押さえてパネルに押し込んで頂いた方が綺麗に仕上がります。